



千葉県佐倉市 Y様邸



## 色調 質感 量感など、敷地全体のバランスを重視

有限会社 大里造園土木  
代表取締役 瓜生治規氏 千葉県佐倉市

Y様邸は、佐倉市郊外…大規模開発の住宅地にあり、開発計画に「美しい街並みの提供」を掲げ、緑化協定をはじめ、いくつかの条例が施行されています。当然、この町の人たちは「美しい街並みが保証されていること」を理由にこの地を選んだのですから、街並みへは高い関心があります。そこでプランを立てる上で踏まえたことは、「条例、協定を守る」「周辺の街並みと調和する」「ハイレベルなエクステリア環境の中で個性が光る」の3点でした。

その上で、施主様の希望である「家族が楽しく過ごせる庭があり、外部からはオープンなイメージに」を実現するものとして

フロントガーデンのスタイルを採用しました。敷地が広く近隣の視線にも配慮が要らないので、レンガ塀は高さ96cm、フェンスは高さ60cmとし、門まわりもボリュームを抑えています。さらに塀の上のフェンスやカーポートも透視性のあるものを選び、極力「クローズな感じ」にならない工夫をしています。

一方、この住宅外観の特徴はスペインの日差しを連想させる淡いオレンジ色で、計画当初から重要な要素となりました。この色調を個性の中心に据え、塀、門、アプローチ等に同系色のレンガを使って住宅全体のイメージを固めました。メインとなるフロントガーデンのほぼ中央をアプローチが走り、両側に芝生の庭が広がります。リビング前にはレンガ敷きのデッキを設け、アウトドアリビングを誘う空間にしています。花壇は家族で管理できる規模にし、あまり手をかけなくても、家族で楽しみながら作り上げていけるプランを提案しています。



東京都目黒区 S様邸

## 屋上を有効活用したアウトドアリビング



株式会社 椎橋商店  
専務取締役 椎橋兼房氏 東京都目黒区

S様では「庭は望めないまでも外で過ごす場がほしい」という希望が強く、屋上の活用を提案しました。屋上全体の面積は110㎡と広く、アウトドアリビングとしては十分なスペースといえます。

屋上庭園は、テーブルを囲んでバーベキュー等を楽しむリビングスペースと家庭菜園ができるガーデンスペースで構成されています。リビング側には木製の床を設置していますが、木材には長年の耐用を考慮して防腐処理を施し、ステンレス製ネジを使用しました。また、お子様たちが幼いので周囲のフェンスは隙間の狭いものを使い、床下にも入れないように配慮しました。周囲の視線はあまり気にはなりません、住宅が隣接している面だけは、目隠しとリビングの雰囲気づくりにラチスを使っています。